

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
1	とんだばやし未来 代表質問 11番 南齋 哲平 (質問方式) 一問一答	1. 金剛地区について	<p>(1) 金剛団地のこれからについて</p> <p>①市は金剛団地の現在の状況をどのようにとらえているのか。</p> <p>②金剛団地のこれからのかたちについて、積極的にURと対話を行っていくべきと考えるが、その点に関する執行部の見解</p> <p>(2) 関西スーパー北側の自転車対策について</p> <p>①関西スーパー北側の駐輪問題の解決に向けて、テナントを保有する事業者と協議を行うことが必要と考えるが市の見解と、現在の動向、今後の展開について</p> <p>②市民の利便性ならびに地域での暮らしやすさに資するためにも市が中心となって駐輪場の設置を進めるなど、当該エリアの整備を進めることもひとつと考えるが、その点についての見解</p>
		2. 命を守る防災減災対策の充実に向けて	<p>(1) 避難所運営ゲーム（HUG）を用いた研修を市内全域に広げる仕組みの構築と、同時に避難所に備わっている備蓄品の置き場所ならびに内容の確認、使用の実践を行える研修・訓練を行うことについて</p> <p>(2) 東京都荒川区で行われている「中学校防災部」の取り組みを本市に導入することについて</p>
		3. 「富田林市認知症と伴にあゆむ笑顔のまち条例」の取り組みを具体化するために	<p>(1) 国における認知症基本法の制定を受けて、認知症施策推進計画の策定に関する本市の基本的な考え方について</p> <p>(2) 東京都墨田区の「すみだオレンジかるた」の取り組みを参考に、本市でもその活用を含めた取り組みを行うことについて</p>
		4. 富田林市のごみ収集事業に関する課題について	<p>(1) ふれあい収集の利用状況と家庭ごみの戸別収集に関する課題と対応策について</p> <p>(2) プラスチック製容器包装ごみの収集について</p> <p>①収集回数を増やすことについて</p> <p>②回収ボックスの設置数を増やすための取り組みや、既存のボックスの場所の周知に努めることについて</p>
		5. 収入を主として考える部署の構築について	<p>(1) 収入の確保と財政の健全性を重視しつつ、公共サービスの提供や地域の発展に貢献するために、収入に特化した部署の構築が必要だと考えるが、執行部の見解は</p>
2	自民・笑顔の会 代表質問 16番 南方 泉 (質問方式) 一問一答	1. 誰一人取り残さない「学び」の保障に向けた不登校対策について	<p>(1) 校内教育支援センター（スペシャルサポートルーム等）について</p> <p>(2) 学校内適応指導教室設置と経緯について不登校生徒数や利用者推移も聞く</p> <p>(3) 学校内適応指導教室運用について指導員等は足りているか</p> <p>(4) 不登校児童・生徒のために名称を「スペシャルサポートルーム」に改めてはどうか</p> <p>(5) 文科省COCOLOプランに於ける「不登校特例校の設置(学びの多様化学校)」について考えを聞く</p>

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
		2. 学校でのいじめ防止対策について	(1) いじめが起きてしまった場合の転校に伴う校区変更には柔軟な対応を (2) いじめの「SOS」を見逃さないため「チーム学校」の取組みや実績について (3) スクールカウンセラーやソーシャルワーカーの役割と効果検証について (4) 富田林市いじめ・不登校対策「スマイル会議」について (5) 寝屋川市の先進事例を参考に「いじめ監察課の設置」検討を
		3. すばるホール施設とレストランの有効利用と将来の活性化について	(1) 市庁舎建て替えに伴う仮移転中の施設やレストランについて自動販売機設置など有効な使い方を再検討してはどうか (2) 令和10年の市庁舎グランドオープン時にはすばるホールレストラン等も再オープンの検討を (3) すばるホールに移動した部署の公用車は災害時に足りていなかった。危機管理を問う (4) 職員専用駐車スペースの確保と公用電気自動車導入を求めている
		4. 香害（化学物質過敏症）について	(1) 学校現場や職場などでの香害（化学物質過敏症）について周知は行われているか (2) 学校現場などにおいてポスターやパンフレットでの啓蒙啓発の徹底を求める (3) 薬物乱用防止講座などで同時に啓蒙啓発をしてはどうか
		5. サバーファーム改革について	(1) 現在の進捗の報告・今後のスケジュールについて (2) サバーファームのリニューアルに向けての市の考えを聞く（有機農業の生産拠点、農産物の共同加工所、新しい農業技術の研究拠点について）
3	大阪維新の会 代表質問 2番 酒本 千紘 （質問方式） 一問一答	1. 富田林市役所の新庁舎について。	(1) 新庁舎建設工事に係る入札の評価について。 ①評価項目の法律上の取り消し又は変更について。 ※7月26日に入札を公表されているが内容に修正すべき点がある場合、法律上、取り消し又は変更することはできるのか。 ②「総合評価落札方式」の評価項目について。 ③評価項目において減点等が可能な仕組みになっているのか。 ④最適な事業者選定に向けた評価項目の追加について。
		2. ファシリティマネジメントについて。	(1) 公共施設の長寿命化と、適切な維持管理について。 ①専門技術職員の確保の状況と、富田林市の公共施設の長寿命化、適切な維持管理のあり方等について聞く。 (2) 発注者支援機関の活用について。

令和5年第3回（9月）富田林市議会定例会

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発言の要旨
		3. 基礎自治体の機能強化について。	(1) 今後の人口動態や富田林市の課題等について。 (2) 大阪府や近隣町村の取組み等について。 ※将来予測を踏まえ市民サービスを維持し、更に向上するには、市町村合併も視野に入れるべきではないか。
		4. 避難実施要領について。	(1) 避難実施要領のパターン等について。 ※避難実施要領のパターンを公表し、危機事象発生等に備えるべきではないか。 (2) 全国一斉訓練放送等について。 ※弾道ミサイル飛来を想定した、市民避難訓練の実施も検討するべきではないか。
		5. 財政収支見通しについて。	(1) 富田林市の作成する「財政収支見通し」と、大阪府と共同で作成している「中長期財政シミュレーション」について。 ※「中長期財政シミュレーション」の公表についても聞く。
		6. 富田林市で行われている大阪府の取組みについて。	(1) 大阪府が取り組む様々な施策や計画等について。 (2) 富田林市の更なる成長について。 ※「G7大阪・堺貿易大臣会合」や「2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）」等の取組みについても聞く。
		7. 教育基本条例の制定を求めて。	(1) 第2期富田林市教育大綱について。 ①第2期富田林市教育大綱における教育の成果、課題等について。 ②第2期富田林市教育大綱における具体的な目標設定や進捗管理等について。 (2) 富田林市教育行政基本条例を制定してはどうか。 ※大阪市の事例等について言及する。
		8. 職員基本条例の制定を求めて。	(1) 富田林市における人事評価制度の成果や課題等について。 (2) 富田林市職員基本条例を制定してはどうか。 ※大阪市の事例等について言及する。
		9. 富田林市における生活保護について。	(1) 令和5年10月の生活扶助基準額見直し等による富田林市生活保護受給世帯への影響について。 (2) 生活保護の適正運用に向けた取組みについて。 ①令和4年度の富田林市で発生した不正受給について。 ②富田林市の不正受給対策への取組みについて。 ※大阪市、京都市の事例等について言及する。 (3) 稼働年齢層への就労支援について。 ①富田林市における稼働年齢層への就労支援の取組みについて。 ②成果連動型民間委託契約方式(PFS)について。 ※大阪府枚方市の事例等について言及する。

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
		<p>10. 今後の市立幼稚園・保育所のあり方について。</p>	<p>(1) 令和5年5月に公表した、「富田林市立幼稚園・保育所のあり方基本方針【個別施設再配置計画】（素案）」が、策定に至らなかったことについて。</p> <p>①令和5年6月定例会において、「富田林市立幼稚園条例及び富田林市立保育所条例の一部を改正する条例」が、否決されたことについて、原因をどのように分析し、今回の教訓を今後、どのように活かしていこうと考えているのか。</p> <p>②令和5年4月23日に「市長選挙」という、市民の声、民意を直接問う絶好の機会があった。選挙前に「富田林市立幼稚園・保育所のあり方基本方針【個別施設再配置計画】（素案）」を公表しなかったのは何故か。また、選挙前に公表すべきだったと考えるが、市長の見解を求める。</p> <p>※過去の経緯を考えれば、個別施設再配置計画を公表できたはずなのに、敢えてそれをしなかった理由も明確に説明されたい。</p> <p>③令和4年12月に公表した、「富田林市立幼稚園・保育所のあり方基本方針（素案）」において、市民の関心が高い「個別施設の再配置」を除いた、いわゆる総論部分のみとした（個別施設再配置計画を分離した）ことについて、今、振り返っての市長の見解を求める。</p> <p>④今後、「富田林市立幼稚園・保育所のあり方基本方針」の策定に向けて、どのようなスケジュールで取り組むつもりなのか。</p> <p>(2) 市立幼稚園について。</p> <p>①市立幼稚園の再配置に向けての取り組みが、平成30年（2018年）8月に示された前回の素案から、5年以上遅れることについて、市はどのように考えているのか。</p> <p>※すぐにも再配置に向けた取り組みに着手すべきではないか。</p> <p>②最短で再配置に着手する手段として、以前、適用されていた、「2年連続1桁の児童数だった場合、翌年度から順次募集停止」というような、客観的かつ明確なルール等を、新たに設けてはどうか。</p> <p>③前述の「②」と並行して、「富田林市立幼稚園・保育所のあり方基本方針」の策定を検討してはどうか。</p> <p>※必要があれば、改めて「富田林市立幼稚園・保育所あり方検討委員会」を設置することも視野に入れて検討してはどうか。</p> <p>(3) 市立保育所について。</p> <p>①「市立保育所のあり方基本方針」を分離し、先行して策定の後、「富田林市立保育所条例」の改正を目指すことを検討してはどうかと考えるが、市の見解を求める。</p> <p>(4) 市立幼保連携型認定こども園の設置について。</p> <p>①今回の「富田林市立幼稚園・保育所のあり方基本方針」では、集団規模を20人としているところ、東条小学校では各クラス10人程度になっている。統廃合を検討すべきだと考えるが、執行部の見解を求める。</p> <p>②公共施設の総量適正化について。</p> <p>※平成28年（2016年）3月に策定された「富田林市公共施設等総合管理計画」の「総量の最適化」にも言及し、執行部の見解を求める。</p> <p>③市立幼稚園、小学校、中学校等の統廃合を進めていく中で、跡地活用の1つの手段として、既存施設等を活用して「市立幼保連携型認定こども園」の設置を検討してはどうかと考えるが、市の見解を求める。</p>

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
4	公明党 代表質問 6番 村山 理恵 (質問方式) 一問一答	1. 安心安全なまちづくりについて	(1) 避難所開設時のデジタル受付とアナログ受付について ①「避難者名簿」のデジタル化を進めるため、各個人のスマートフォンでデータを入力したものを被災者支援システムに取り込む体制の構築を求めて ②「避難者名簿」を避難所で記入する混雑を回避するため、「避難者名簿」をあらかじめ配布しておくことを求めて (2) スマートフォンやインターネットを利用しない方や、高齢者、聴覚障がい者、視覚障がい者などいわゆる「情報弱者」の方への、より効果的な災害時の情報伝達の手法を求めて (3) 防犯上の課題がある場所への防犯カメラ設置の現状と対策について
		2. 市民への広報の方法について	(1) 現在の広報「とんだばやし」を全ページカラー刷りにして、見出しを大きく見やすく、興味を持ってもらえるものに刷新してはどうか？ (2) 手話言語条例を制定している本市だからこそ、毎月の広報誌の中からピックアップした記事を「手話動画」にしてはどうか？
		3. 富田林市公式LINEアカウントの活用について	(1) 公式LINEアカウントをより効果的にするため、各課で担当者を決め、全庁的に活用する体制づくりを求めて（藤井寺市の活用を視察して） (2) 大阪府の共同調達により、拡張される本市LINEアカウント機能について
		4. 本市の小中学生の運動機能向上について	(1) 学校での運動器検診などの取り組みについて (2) いつでも取り組める、けがの予防につながる身体づくりを求めて
		5. 「防げるがん」への対策について	(1) 能動喫煙による肺がん、HPV感染の子宮頸がんに対する本市の対策の現状について (2) ピロリ菌検査の助成制度創設を求めて
		6. EV車普及の環境整備について	(1) 公共施設への充電設備の設置について
		7. 障がい者千人雇用について	(1) 本市における障がい者手帳をお持ちの方の状況について ①そのうち18歳～65歳の方の人数について (2) 千人雇用の達成に向けての各機関連携について (3) 千人雇用に向けた今後の展望について
		8. 老人いこいの家について	(1) 個別施設計画では維持をし、地元へ譲渡を検討などがあるが、今後の計画は (2) 施設内設備の電位治療器の保守サービスや耐用期間について (3) 今後の機器の更新について

令和5年第3回（9月）富田林市議会定例会

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
		9. 若者の転入促進について	(1) 本市の18歳から39歳の転入・転出の現状と若者転入促進施策について (2) 若者の転入促進につながる「奨学金返還支援制度」の導入について
		10. 富田林市の文化財の保存と活用について	(1) 本市文化財保存活用地域計画の策定状況について (2) 本市の文化財を常設展示する歴史資料館の設置について (3) 「新堂廃寺跡・オガンジ池瓦窯跡・お亀石古墳」の整備について
5	15番 京谷 精久 (質問方式) 一問一答	1. 森林環境譲与税の有効活用について聞く。	(1) 現在の森林環境譲与税の現状とこれまでの税の使用状況について。 (2) 今後の使途に関する基本方針を明確に定め、税の計画的有効活用を求める。
		2. 農業公園サバーファームの指定管理の有り方について聞く。	(1) サバーファームの活性化に向けたこれまでの取り組み状況と次期指定管理制度における進捗状況について。 (2) 現在の指定管理期限（令和6年3月末）が迫る中、スケジュール的にどのように対応するのか。 (3) 新たな指定管理者が、期限内に決まらなかった場合、農業公園の今後の有り方も含め、執行部の考えを聞く。
6	17番 今城 克久 (質問方式) 一問一答	1. 本市における子育て政策について	(1) 保育施設のおむつ処分に対する支援について (2) 私立幼稚園の未就園クラスでのおむつ処分に対する支援について
		2. 本市におけるスポーツ政策について	(1) 富田林市営スポーツ施設に関する利用者からの要望の窓口について (2) 富田林市のスポーツ振興について
7	14番 坂口 真紀 (質問方式) 一問一答	1. 市立幼稚園、保育所の今後の方向性について	(1) 透明性のある方針決定について (2) 今後の人員体制について
		2. 若者会議について	(1) 福祉的な立場の当事者の参加について (2) 長期的視点に立った事業実施と評価基準について ①連続性のある事業実施と若者当事者としての視点について ②情報提供の強化について ③評価基準について (3) 地域住民からの評価と連携について
		3. 本市での障がい者雇用について	(1) 本市での障がい者雇用率の今後の見通しについて (2) 本市の障がい者雇用枠の募集の拡充について (3) 障がい者就労に向けた民間事業者との連携について

令和5年第3回（9月）富田林市議会定例会

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発言の要旨
8	13番 寺尾 千秋 (質問方式) 一問一答	1. 子育て支援の強化を求めて	(1) 「(仮称) こども・子育てプラザ」について ①金剛地区への設置の見通しは ②広く市民に親しまれる愛称をつけては (2) 市民プールについて ①市民プールの必要性や意義について ②小中学生のプール利用人数について ③こども料金の無料化について ④駐車場の利用状況について (3) 学校給食費の無償化について
		2. マイナンバー制度について	(1) 「マイナンバーカード相談窓口」の設置を求めて (2) 保険証が廃止されることについて市長の考えを聞く
		3. 保育所施設のICT化について	(1) 富田林市立保育園・私立保育園へのICT導入の状況とその内容について聞く (2) 導入の目的と、その目的が達成できているのか、進捗状況や課題を聞く (3) 課題解決に向けての取り組みについて聞く
9	4番 寺内 裕介 (質問方式) 一問一答	1. 富田林市における成年後見制度の活用について。	(1) 富田林市の中核機関における4つの機能の実績および今後の課題等について。 (2) 富田林市における市民後見人活動の実績および今後の課題等について。
		2. 富田林市における国際化社会への対応について。	(1) 富田林市における外国人市民の状況や課題等について。 (2) 富田林市における国際交流関係組織の状況等について。 (3) これからの国際化社会に向けた富田林市の対応等について。 ※大阪府箕面市の事例等について言及する。
10	3番 岩崎 哲也 (質問方式) 一問一答	1. 富田林市の障がい者雇用について。	(1) 障がい者千人雇用について。 ①障がい者千人雇用の根拠等について。 ②富田林市の福祉的就労と一般就労されている障がい者の人数について。 ※岡山県総社市の事例にも言及する。 (2) 障がい者雇用の手段として。 ①特例子会社の誘致等について。 ※農福連携事業の実例にも言及する。
		2. 富田林市にあるゴム井堰について。	(1) 石川流域の河川におけるゴム井堰について。 ①経年劣化するゴム井堰の維持費用にかかるスキーム等について。 ②石川流域の河川におけるゴム井堰を導入した経緯等について。 ③ゴム井堰を地元水利組合に引き渡す際の協定書について、その内容と今まで協定書が遵守されてきたのか。また、市の責任について。 ④ゴム井堰の改修事業に伴う地元負担金の軽減等について、大阪府へ要望を上げることに対する市の見解について。 ※「令和5年度 大阪府政に係る市町村の諸問題についての意見交換会」にも言及する。